



知床科学委員会 しんぶん

エゾシカ・ヒグマ

ワーキンググループ NO.17



「知床半島ヒグマ管理計画」では、ヒグマによる危険の軽減やヒグマ本来の生態・行動を乱さないことを目的に、利用者(ビジター)や地域住民に求められる行動を明示しています。

例えば、こんな状況が発生させたくない



危険なヒグマを 作り出さない

人間の食べ物や生ゴミは栄養分が豊富で、野生のヒグマにとって大変魅力的な食べ物です。それらを食べてしまったヒグマは味をしめ、人家や人間の周囲に積極的に近づくようになり、ついには窓や戸を壊して建物内へ侵入して食べ物を得ようとすることもあります。過去、複数の死傷者が出たパターンの人身事故は、このようなヒグマによって引き起こされています。安全のためには、人間の食べ物や生ゴミをヒグマに食べさせないことが大変重要です。

～住民の皆さんへのお願い～

知床半島ヒグマ管理計画では、地域の皆さまに以下のご協力をお願いしています。

- ①ヒグマの存在を常に意識する。
- ②ヒグマを誘引しないよう食物・ゴミの管理を徹底する。
- ③ヒグマの出没情報を役場等へ通報する。

- 斜里町 0152-24-2775 (知床財団 / 日中のみ)
090-3778-4308 (知床財団 / 夜間・早朝)
- 羅臼町 0153-87-2111 (羅臼町役場・代表)
- 標津町 0153-82-2131 (標津町役場農林課林政係)

ヒグマが冬眠から覚めて動き始めるのは、もっとも早くても3月上旬！
春先も油断は禁物です！



注目!

ヒグマに壊されないゴミ箱（とれんべア）の普及をめざして



とれんべアの詳細は、
こちらのQRコードから



危険なヒグマを作り出さないためには、ゴミをヒグマに食べられないことが先ず重要です。地域の皆様にはこれまで、収集直前の時間帯にゴミ出しするなどの協力をいただいていたが、ヒグマによるゴミの被害はしばしば発生します。一方、アメリカのクマ生息地や長野県軽井沢の別荘地では、クマに壊されない頑丈なゴミ箱が普及しています。これらをヒントに、ヒグマの怪力でも破壊できないゴミ収集ステーション（製品名とれんべア）を網走市の業者と知床財団が共同開発しました。世界遺産地域に隣接している斜里町ウトロ地区には、とれんべアが既に6台設置されていますが、まだまだ不足しています。そこでさらなる普及をめざして、2018年12月～2019年1月の2か月間、インターネット上で寄付を募る「クラウドファンディング」を実施しました。おかげさまで全国の方々からご寄付いただき、3台分の製造・運搬・設置の費用を確保することができました。なおとれんべアは、複数世帯分のゴミを収容するタイプのゴミステーションでかなり大きいため、現在、設置場所の選定やスケジュールなどの調整作業を進めています。

注目!

国の事業で捕獲したエゾシカの活用状況



知床半島で実施されている国（環境省・林野庁）の事業で捕獲されたエゾシカの大半は、生体・死体を問わず地元の利用業者のもとへ運ばれ、食肉やベツトフードに活用されています。シカの利用率は北海道全体では約20%、全国では約10%と言われています。知床でのエゾシカの利用率は約95%（2017年度の環境省・林野庁事業における値）で、きわだって高くなっています。食肉に加工されたエゾシカは、おもに札幌や首都圏のレストランに出荷されています。知床では国の事業や地域による取り組み（ハンターによる有害捕獲）の効果によって、エゾシカは順調に減少しました。そのため捕獲数も一時期と比較すると減少しており、特に利用にまわしやすい若い子鹿による生け捕りの頭数が大幅に減少するなど、新たな課題も浮かび上がってきています。

会議の内容をもっと知りたい方はコチラ
知床データセンター

<http://dc.shiretoko-whc.com/>

■問合せ先■

環境省釧路自然環境事務所

〒085-8639

北海道釧路市幸町 10-3 釧路地方合同庁舎 4 階

TEL 0154-32-7500 FAX 0154-32-7575



ヒグマ情報を公開しています。

2018 年 10 月下旬に、ホームページ「知床のひぐま」を開設しました。2017 年から Facebook にて、知床のヒグマに関する情報を先行して公開していましたが、古い情報をアーカイブしにくいため、ホームページも作成しました。知床のヒグマ情報に関するポータルサイトを目指しています。ぜひ一度ご覧ください。

<https://brownbear.shiretoko.or.jp/>

